

## 社会の分析と改善策

### 1年

#### ① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<p>授業アンケートの結果、「集中して授業に取り組めた」にそう思う・ややそう思うと回答した生徒は全体の90%で、「意欲的に授業を受けた」にそう思う、ややそう思うと回答した生徒は全体の89%であった。また、「忘れ物をしない」にはそう思う・ややそう思うと回答した生徒は全体の96%、「興味をもった内容がある」にそう思う・ややそう思うと回答した生徒は、全体の78%となった。</p> <p>社会の授業に集中して取り組んだり、意欲的に授業を受けているが、興味をもてない生徒がいる。</p>
思考・判断・表現	<p>授業アンケートの結果、「授業中じっくり考える時間がある」にそう思う・ややそう思うと解答した生徒は、全体の76%となった。</p> <p>授業の取り組みとして、グラフを読み取らせるなどの学習を行なっているが、生徒自身は、「じっくり考えた」という実感がないようである。</p>
資料活用の技能	<p>雨温図などのグラフを読み取らせたり、縄文時代や弥生時代の絵画から特色を読み取らせたり、土偶などの実物教材を見て特徴を読み取るなど、さまざまな資料を用いて自分の意見を組み立てることができる生徒もいる。その一方で、資料中の基礎的な語句からの意味を理解できていないため資料読み取り以前の生徒や、空間認識力不足のため地図の読み取り方や、数学力不足からグラフや表の読み方がわからない生徒もいるなど個人差が大きい。</p>
知識・理解	<p>授業アンケートの結果、「授業内容を理解できた」にそう思う・ややそう思うと回答した生徒は全体の85%である。「説明はわかりやすい」にそう思う・ややそう思うと答えた生徒は全体の86%となった。</p> <p>授業内容を理解できず、説明がわかりにくい生徒が15%程度いるのが現状である。</p>

#### ② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・ 新聞・テレビなどのニュースを題材として、より深い内容の社会的事象に関心をもたせる。
- ・ 多角的な考察を深め、個人の考えを発表する機会を増やすために、グループ学習の時間を増やす。
- ・ 思考力、判断力を確実なものとするために、自分の考えや意見をワークシート等にまとめさせる。
- ・ 資料活用の技能を伸ばし、知識力・理解力を向上させるためにワークシートに記述させる機会を増やす。また、語句の意味を明確に表現させることで、知識力・理解力の定着を図る。

## 2年

### ① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<p>授業アンケートの結果、「授業に集中している」にそう思う（74名）・ややそう思う（63名）と回答した生徒は全体の94%で、「意欲的に授業を受けた」にそう思う（52名）、ややそう思う（66名）と回答した生徒は全体の81%となった。また、「忘れ物をしない」にはそう思う（110名）・ややそう思う（26名）と回答した生徒は94%、「興味をもった内容がある」にそう思う（32名）・ややそう思う（60名）と回答した生徒は全体の63%となった。</p> <p>地理的事象に興味関心をもてない生徒がいる。</p>
思考・判断・表現	<p>授業アンケートの結果、「授業中じっくり考える時間がある」にそう思う（45名）・ややそう思う（71名）と回答した生徒は全体の80%となった。</p> <p>授業の取り組みとして、グラフを読み取り、なぜそのような変化をしたのかなどを考えさせる課題を設けているが、じっくり考えて自分なりの考えをまとめることをあきらめてしまう生徒がいる。</p>
資料活用の技能	<p>グラフや表など、さまざまな資料を用いて自分の考えをまとめる生徒がいる。しかし、基礎的な語句や国々の特徴など、資料読み取り以前の基礎学力が不足していることから、グラフや表の読み方がわからない生徒もいるなど個人差が大きい。</p>
知識・理解	<p>授業アンケートの結果、「授業内容を理解できた」にそう思う（42名）・ややそう思う（70名）と回答した生徒は全体の77%で、「説明はわかりやすい」にそう思う（48名）・ややそう思う（60名）と答えた生徒は全体の74%となった。</p> <p>授業のねらいを明確にし、基礎的事項を確実に押さえていくことが大切である。</p>

### ③ 体的な改善策及び生徒の基礎力・思考力活動を身に付けさせるための工夫

- ・日本の諸地域の学習になるので、各地域の位置や自然など基礎的事項を確認し、その地域の特色を通して興味・関心をもたせながら展開していく。
- ・様々な資料をていねいに読み取らせ、読解力を高めるとともに、その内容が必要な知識につながるように授業を行なう。
- ・思考力を高めるために、プリントに考えさせる問題をつくり、グループ学習など活動型授業を取り入れることで、自分の意見を発表させる時間をつくる。
- ・単元ごとにまとめの時間を設定し、復習する機会を設ける。小テストや白地図ワークの提出を行なうことで、家庭などで復習する機会を増やし、基礎・基本の定着を図る。

### 3年

#### ④ 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<p>授業アンケートの結果、「集中して授業に取り組めた」にそう思う（歴史112名・公民97名）・ややそう思う（歴史21名・公民31名）と回答した生徒は全体の99%で、「意欲的に授業を受けた」にそう思う（歴史95名・公民81名）、ややそう思う（歴史35名・公民43名）と回答した生徒は全体の96%となった。また、「忘れ物をしない」にはそう思う（歴史116名・公民117名）・ややそう思う（歴史17名・公民12名）と回答した生徒は99%、「興味をもった内容がある」にそう思う（歴史64名・公民38名）・ややそう思う（歴史45名・公民53名）と回答した生徒は全体の80%以下となった。</p> <p>社会に興味関心をもてない生徒がいる。</p>
思考・判断・表現	<p>授業アンケートの結果、「授業中じっくり考える時間がある」にそう思う（歴史61名・公民41名）・ややそう思う（歴史63名・公民74名）と回答した生徒は85%であった。</p> <p>授業の取り組みとして、ディベートを行なうなど、思考をさせる単元を設けているが、生徒自身は、「じっくり考えた」という実感が無いようである。</p>
資料活用の技能	<p>グラフや表、新聞や法令など、さまざまな資料を用いて自分の意見を組み立てることができる生徒もいる。その一方で、資料中の基礎的な語句からの意味を理解できていないため、資料読み取り以前の生徒や、空間認識力不足のため、地図の読み取り方や、数学力不足からグラフや表の読み方がわからない生徒もいるなど個人差が大きい。</p>
知識・理解	<p>授業アンケートの結果、「授業内容を理解できた」にそう思う（歴史80名・公民46名）・ややそう思う（歴史48名・公民69）と回答した生徒は歴史が95%、公民が82%である。「説明はわかりやすい」にそう思う（歴史95名・公民37名）・ややそう思う（歴史38名・公民71名）と答えた生徒は歴史が98%、公民が77%となった。</p> <p>歴史より公民の方が理解度も、説明のわかりやすさも低い結果となっている。</p>

#### ②具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・社会に興味・関心をもたせるため、授業内容を身近なものと結びつけながら展開していく。
- ・多面的に資料をていねいに読み取らせ、読解力を高めるとともに、その内容が必要な知識につながるような授業を行なう。
- ・思考力を高めるために、プリントに考えさせる問題をつくったり、グループ学習など活動型授業を行ない自分の意見を発表させる時間を多くつくる。
- ・単元ごとにまとめの時間を設定し、復習する機会を設ける。小テストやワークの提出を行なうことで、家庭などで復習する機会を増やし、基礎・基本の定着を図る。
- ・問題集、モジュールで基礎的な知識を反復させ定着させる。